

D X推進で業界の底上げ目差す

DX 研究会

処理業者向けガイドライン策定

I O T協議会、資源循環学会が共同設置

廃棄物処理・リサイクル・IoT導入促進協議会と廃棄物資源循環学会情報技術活用研究部会が、廃棄物・リサイクル分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を図ることを目的に共同で設置した廃棄物処理・リサイクルにおけるDX推進のための研究会（DX研究会）は、廃棄物処理・リサイクルに係るDX推進ガイドライン（処理業者編）を取りまとめた。同ガイドラインは経営層とマネージャートリプル、これよりDX推進、踏み切れた中、中小企業でも理解、浸透の取り組み、一歩として活用できる内容となっている。合わせて「DX・GX推進指標」「WEB診断プログラム」も作成した。

図るため、廃棄物処理・リサイクル・IoT導入促進協議会と廃棄物資源循環学会情報技術活用研究部会が、関係者からなるDX研究会を開催し、廃棄物処理・リサイクルビジネスのDXに関する課題や方向性、具体的措置等について検討。その成果として、DX推進を図ることを目的としたガイドラインを取りまとめた。

同研究会では、DXによる業界の底上げが重要な判断。ガイドラインは「DXとは何か分からない」「DXは何からどう始めればいいのか分からない」「デジタルコストが大きい」といった中小企業でもDXを理解し、始める第一

広く活用してもらうべく、今後広報誌発行についても方針で、内容紹介の希望を随時受け付け、また、同ガイドラインを簡潔に分かりやすく、読みやすいように、パンフレットを簡易版の作成も検討している。内容についても、業界のニーズを拾い上げながら、今後さらに充実を図ることも検討していく予定だ。



攻めのDX
【目的】
・売上増大
・新たな付加価値
・新商品/サービスの革新
等

守りのDX
【目的】
・コンプライアンス遵守
・業務効率化
・ガバナンス強化
等

リサイクルビジネスにおけるDX推進の必要性

デジタル化の推進が国全体にとって喫緊の課題となる中、廃棄物・リサイクルビジネスは、廃棄物の適正処理と循環型社会形成推進という重要な担い手であるにも関わらず、業務効率化や生産性向上に資するDXの浸透が滞っている。今後、廃棄物・リサイクルビジネスが業界として持続可能な成長を遂げいくには、DX推進によりデジタル技術を活用し事業継続性強化と抜本的な生産性向上等を図る必要がある。そこで、デジタル化における業界の底上げを狙い、各社がDXの実現を

意識改革を図ることを狙ったガイドラインになっている。ガイドラインでは、業界がDXにより脱炭素化すなわちGX・クリーン・トランスフォーメーション、さらにはCE（サーキュラーエコノミー）の牽引役となることを、廃棄物・リサイクルビジネスの目指すべき将来像としている。そこでガイドラインと併せて、廃棄物・リサイクルビジネス各社の現状と今後取り組むべき事項を把握するためのツールである「DX・

GX推進指標」、自社のDX・GX達成度を診断できる「WEB診断プログラム」も作成した。同研究会では、同ガイドラインを廃棄物・リサイクルビジネス関係者に広く活用してもらうべく、今後広報誌発行についても方針で、内容紹介の希望を随時受け付け、また、同ガイドラインを簡潔に分かりやすく、読みやすいように、パンフレットを簡易版の作成も検討している。内容についても、業界のニーズを拾い上げながら、今後さらに充実を図ることも検討していく予定だ。